

医学系研究科（博士前期課程）

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学大学院の学位授与方針及び修了後の進路等社会のニーズを踏まえ、所定の年限在籍し、体系的な教育課程により学業を修め、必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査および最終試験に合格し、かつ、高い倫理観と良識のもと、高度専門職業人として備えるべき以下の全ての能力を修得した者に対し、修士（看護学）の学位を授与する。

1. 高度な看護理論・技術に裏打ちされた実践能力と研究遂行力
2. 看護専門分野における国際的な視野と科学的な分析能力
3. 地域を視野に入れ、地域医療に資する看護課題を自ら見つけ、行動することができる能力
4. 研究コースでは、自らの知識と技術を磨く自己研鑽能力、科学的・理論的に判断し説明する能力、及び医学・看護学の発展のために研究を計画・実行し、その成果を発信できる能力
5. 高度実践コースでは、高度な看護学の知識・技術を活用して対象の治療・療養・生活過程の全般を統合・管理し、高度な看護ケアを提供できる能力、及び高度な実践、教育、相談、研究、調整、倫理の6つの能力を駆使し、看護活動を創意工夫して変革できる能力